

新しい国保の被保険者証を郵送します

健康課国保係 ☎(67)5172

善意の紹介

●加藤秀明さん(善慶寺)
アスカ教育基金に1000万円を寄付されました。

●株式会社HSC(高崎市)
微酸性次亜塩素酸水溶液を10ℓ寄付されました。

善意に深く感謝し、
広く皆さんにお知らせします。



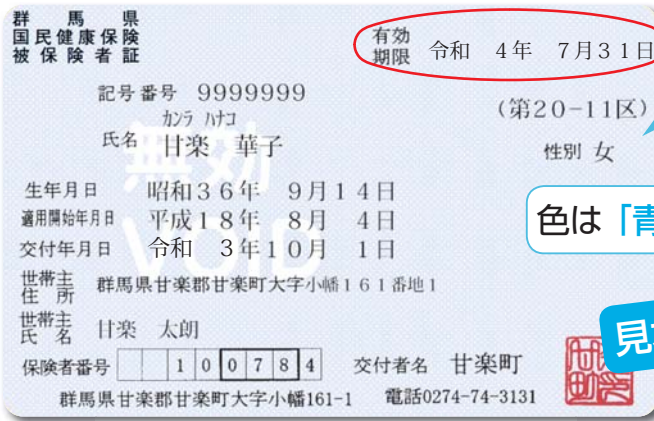
10月1日からは、

新しい保険証を使用してください

一人1枚加入者全員に交付されます

色は「青色」です

見本(表面)



9月中旬に郵送します

お手元に新しい保険証が届きましたら、お持ちの古い保険証は破るなどして処分してください。

会社などに勤め始め、職場の健康保険に加入したときなどは、速やかに本人またはご家族が国民健康保険(国保)の脱退の手続きをしてください。

国保税

国保税は、加入者である皆さんの医療費の支払いにあてる医療保険分と75歳以上の高齢者医療を支える後期高齢者支援金分、介護保険事業にあてる介護保険分からなっています。特別の事情がなく滞納が続くと、保険証を交付できないことがあります。納税に困ったときは早めに相談してください。

ジェネリック医薬品を希望する場合はシールを貼りましょう

保険証に同封するジェネリック医薬品希望シールをご活用ください。

新型コロナウイルス感染症の傷病手当について

国民健康保険か後期高齢者医療の加入者で新型コロナウイルス感染症に感染した場合、または、その疑いにより労務に服することができない人などに、傷病手当金を支給する制度があります。支給には一定の条件があります。

国民健康保険の人は、国保係 ☎(67)5172へ、後期高齢者医療の人は、群馬県後期高齢者医療広域連合 ☎027-225617171へお問い合わせください。

いつでも使える安心ダイヤル

「かんら健康ダイヤル 24」

専用フリーダイヤル **0120-002-028**

(通話料・相談料無料 / 携帯電話からもご利用いただけます)

- 経験豊かな相談スタッフが、健康・医療・介護・育児などの相談にアドバイスします。
- 夜間・休日に受診できる医療機関の情報をご案内します。

教育委員会の事業に関する

点検・評価結果を公表します

町教育委員会では、令和2年度に行った事業について、外部の評価委員による点検・評価を実施しました。本町の「教育行政方針」に基づく学校教育および社会教育に関する10の重点項目、98の施策・事業について、3人の委員から評価を受けました。

新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった行事も多岐に

実施に向けて工夫・努力した取り組みに対して、重点項目ごとの評価(5段階評定)の平均は4.5という評価をいただきました。今後も新型コロナウイルス感染症対策をしながら、より良い教育委員会活動となるよう努めていきます。

なお、報告書は教育委員会事務局(学校教育課学校教育係)で閲覧できます。

意見・要望など(抜粋)

学校教育・幼稚園教育・学校給食

- 新型コロナウイルスの影響で各種行事や施策ができない状況だったと思う。休校中の対応や座席間隔を空けての授業、家庭への連絡などさまざまに苦労があったと思うが、限られた中で十分対応できたと思う。
- タブレットPCの整備で、授業の

幅が広がることを期待している。
● 支援員の各学校への配置により、個に応じたきめ細やかな指導がなされている。

● 幼稚園教育について、新型コロナウイルスの影響で、楽しみな行事がなくなり残念だった。そのような状況の中でもできることを行い、貴重な体験ができたと思う。

● 地元食材の使用を明記した献立表が作成され、地産地消の推進と児童・生徒・家庭への啓発が図られている。

● 各学校の給食主任等と栄養教諭との連携による食育指導が計画的に行われている。

生涯学習・社会教育・文化財保護等

● 町民文化講座を毎年開催している大変評価できる。子ども向けにも多くの教室を開き、よいと思う。

● 図書館事業が年々充実し素晴らしいと思う。

● 人権教育にかかわる各研修会に参

加した点は評価できる。それをいかに町で活用するかが今後の課題だと思つ。

● 楽山園を活用したイベントなどが多く行われ、貴重な文化財として周知されている。町のイベント等と連携して、町の宝である文化財の啓発活動を今後も推進してほしい。

● 元旦駅伝について、参加チームは少なかつたけれども、新たな発想で価値ある大会になったと思う。

● スポーツの日常化・普及のため、施設の整備・活用を今後も進進してほしい。

● 子どもの家庭・地域の環境の変化を考えると、放課後子ども教室は大切な居場所であり、運営に当たる関係者の努力に感謝したい。

評価委員(敬称略)

- ・ 田村峰嗣(秋畑)
- ・ 丸澤弘子(善慶寺)
- ・ 吉井 誠(福島)



8月4日、近藤教育長(右)から中野議長へ報告書が提出されました



伝えよう 感謝の気持ちを 家族へと
あたりまえ その毎日が 宝物

(甘菜中1年 佐藤 翼)
(甘菜中1年 清水翔和)

甘菜町青少年育成推進員連絡協議会が令和2年度に募集した「家庭の日」標語の優秀賞作品です。(学年は2年度・敬称略)

毎月
第1日曜日
家庭の日

給食食材栽培畑に看板を設置しました

産業課農林係 ☎(64)8319

町のおいしい農産物を子どもたちに



甘楽町地産地消推進協議会と町学校給食センターでは「地域の子どもは地域が育てる」を理念に食農教育の推進に取り組んでいます。

子どもたちが学校で食べる給食食材には、地元で採れた生産品を地元で消費する「地産地消」の取り組みとして、町内産の米や野菜などが多く使用されています。農業者の皆さんが心を込めて作



ナス畑に設置された看板(国峰地区)



米を作っている水田(造石地区)。看板には農産物のイラストを表示

る農産物を子どもたちが身近に感じ、食と地域、農業とのつながりを学ぶきっかけづくりとして、学校給食食材農産物を生産している圃場をわかりやすく表示する看板を設置しました。

看板は町内9カ所に設置し、子どもたちだけでなく地域住民にも見ていただくことで地元の安全でおいしい野菜を知っていただき、地産地消の推進へとつなげます。

国民年金からのお知らせ ■ 住民課住民係 ☎(64)8314

年金生活者
支援給付金制度

年金生活者支援給付金は、公的年金等の収入や所得額が一定基準額以下の年金受給者の生活を支援するために、年金に上乘せして支給されるものです。

令和3年度から新たに対象となる人には請求書(はがき)が8月下旬に郵送されていますので、早めに提出してください。令和2年度までに請求済みの人は郵送されません。

詐欺にご注意ください！

電話で家族構成や口座番号、暗証番号を尋ねたり、手数料などを求めることはありません。

問い合わせ

高崎年金事務所

☎027(322)4299

給付金専用ダイヤル

☎0570(05)4092(ナビダイヤル)

種類	老齢年金 生活者支援給付金	障害年金 生活者支援給付金	遺族年金 生活者支援給付金
対象要件	<ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上の老齢基礎年金受給者 ・同一世帯の全員が町民税非課税 ・前年の公的年金等収入額とその他の所得額との合計が約88万円以下 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害基礎年金の受給者 ・前年の所得額が約472万円以下 	<ul style="list-style-type: none"> ・遺族基礎年金の受給者 ・前年の所得額が約472万円以下
給付金額(月額)	<p>5,030円</p> <p>※5,030円を基準に保険料納付済期間などに応じて算出されます</p>	<p>障害等級1級の人 6,288円</p> <p>障害等級2級の人 5,030円</p>	<p>5,030円</p> <p>※2人以上の子が受給している場合は、5,030円を子の数で割った金額</p>



オラ ニカラグア Hola! Nicaragua

東京2020 オリンピック ニカラグア選手団が出場しました!



東京2020オリンピックに、ニカラグアから8人の選手が出場しました。世界の
大舞台で活躍された選手の皆さんと試合結果は次のとおりです。たくさんの応援、
誠にありがとうございました。

選手名(年齢)	出場種目/結果	(敬称略)
 イサヤナ・マレンコ(28)	柔道 女子・78kg超級/17位	
 エドウィン オルランド・バルベレナ メルカド(22)	射撃 男子・10mエアピストル個人/36位	
 エビデリア・ゴンザレス ハルキン(23)	ボート 女子・シングルスカル/27位	
 セマ・ルドリック リバス(21)	ウエイトリフティング 女子・64kg級/12位	
 フェリックス・ポトイ(26)	ボート 男子・シングルスカル/26位	
 マリア ビクトリア・シュッツマイアー(21)	競泳 女子・100m自由形/43位	
 ミゲル・メナ(24)	競泳 男子・100m自由形/55位	
 イエイケユ エリウト・ロメロ(18)	陸上 男子・100m/55位	

マレンコ選手からのメッセージ



8月号で紹介した柔道女子78kg超
級出場のイサヤナ・マレンコ選
手から、試合後にメッセージが届き
ましたので概要を紹介します!

「Hola 甘楽の皆さん!
私を応援してくださり、ありがとうございました。
畳に上がるその時まで、皆さんの応援を感じてい
ました。
残念ながら勝つことはできませんでしたが、オ
リンピックに初めて出場でき、大きな経験となり
ました。
次の夢は、メダルをわが国に持ち帰ることです。
皆さんという日本の兄弟たちに恵まれ、日本を
近くに感じる経験ができました。
心からの応援ありがとうございました。皆さん
のこと大好きです!」



～ JICAニカラグア事務所が30周年を迎えました! ～



ニカラグアと町のホストタウン交流に多大なご支援ご協力をいただいた
JICAニカラグア事務所の取り組みを紹介します。

「JICAの対ニカラグア協力30周年」

JICAの対ニカラグア協力は、1989年の内戦終結を受け、同国の再建・復興のため1991年8月に
青年海外協力隊が派遣されたことに始まります。2001年には2国間の「技術協力に関する協定」を締
結し、今ではさまざまな形で協力を行っています。

2018年4月に社会保険制度改正をきっかけに政府・反政府間の激しい対立が起これ、またさらに追
い打ちをかけるように新型コロナウイルスが発生したことで、失業率の増加など厳しい状態が続いて
います。

JICAニカラグア事務所は「信頼で世界を繋ぐ」とい
うJICAのビジョンに基づき、このような時だからこそ
ニカラグアの人々が真に必要な協力の実現を目指し
ています。

30周年を迎えた今年は「持続可能な発展を目指し友
情と信頼の橋を作り続けて30年」というスローガンを
掲げ、さまざまな記念イベント(8月16日～9月10日:
<https://www.facebook.com/JICANicaragua>)を実施
しています。甘楽町の皆さんもぜひご覧ください。

(写真・文章提供 JICAニカラグア事務所 田中紀子さん)



初めて日本語で書いた「i Hola かんら!」を
手にしたニカラグア人スタッフ。スタッフ左
のマークは30周年記念ロゴ